

# 子どもの未来が 輝くまちに 子ども子育て・教育の取り組み

津市では、公立認定こども園6施設の整備や民間事業者の施設整備に対する支援などにより、保育定員を1558人分拡充しました。また、「こども基金」を創設し、津市独自の施策として子どもと妊産婦の医療費助成の所得制限撤廃や窓口無料化の拡充を行い、子どもの予防接種費用助成も開始しました。

令和7年3月には「こども計画」を策定し、「こどもまんなか社会実現会議」を設置するなど、子ども・若者、子育て当事者の思いを事業に直接反映するための取り組みを進めています。

教育分野では、美里地域において県下の義務教育学校を開校。また、幼児教育で培われた学びを小学校教育につなげ

## 津市は合併20周年

平成18年1月1日、平成の大合併といわれる中でも、津市・久居市・河芸町・芸濃町・美里村・安濃町・香良洲町・一志町・白山町・美杉村の10市町村による大きな合併で、「津市」が誕生しました。令和8年1月に合併20周年を迎えることを記念し、6月号から7回にわたりカテゴリ別に本市の20年の歩みを振り返っています。



2015

げいのう わんぱーく

## 2021



就学前日本語教室「つむぎ」の授業の様子

大規模改造後の西が丘小学校



香良洲浜っ子幼児園



白山こども園

## 2017



みさとの丘学園



令和7  
2025

令和6  
2024

令和5  
2023

令和4  
2022

令和3  
2021

令和2  
2020

令和1  
2019

平成30  
2018

平成29  
2017

平成28  
2016

平成27  
2015

平成26  
2014

平成25  
2013

平成24  
2012

平成23  
2011

平成20  
2008

平成18年1月1日 新津市誕生

- 教育振興ビジョンを策定
- 中央学校給食センターの供用を開始
- 初期日本語教室「ぎずな」を開設
- まん中こども館をオープン
- 中央公民館を津センターパレスへ移転
- 小中一貫教育基本方針を策定
- 小規模特認校制度を導入
- 総合教育会議を設置
- げいのう わんぱーくをオープン
- 児童発達支援センター「つうぼっぽ」をオープン
- 育児休業に伴う退園(育休退園)を廃止
- 子どもの医療費助成を中学生まで拡大
- 津市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を策定
- 義務教育学校「みさとの丘学園」を開校
- 公立のこども園の整備を開始(6園)
- 小中学校に教員支援員を導入
- トイレの快適化計画(洋式化)が完了(31校474基)
- 倒壊の危険性がある小中学校のプールのブロック塀を撤去・改修(20校)
- 幼稚園、保育所、認定こども園などで3歳児以上の利用料が無償化
- GIGAスクール構想の実現に向けた取り組みを開始
- 幼児教育アドバイザーを配置(5人)
- 就学前日本語教室「つむぎ」を開設
- 校舎の大規模改造事業が完了(9校)
- 児童・生徒用1人1台タブレット端末の活用を本格化(約2万台)
- 学校運営協議会を全学校に設置
- 校舎の長寿命化改修事業を開始(12校)
- 公立保育所・認定こども園でICTシステムを導入
- 架け橋プログラムの取り組みを開始
- 全小中学校の教室へのエアコン整備が完了
- 三重大学・子ども教育センターを設置
- 保育施設における使用済み紙おむつの持ち帰りを廃止
- 1か月児無料健康診査事業を開始
- ポートレース事業収益金を活用し「こども基金」(学校施設整備基金)を創設
- こども家庭センターを開設
- 保育士・幼稚園教諭等就労開始
- 応援事業を開始
- 子どもと妊産婦の医療費助成の所得制限を撤廃し窓口無料化を拡充
- こども計画を策定
- こどもまんなか社会実現会議を設置
- 三重短期大学の名称を津市立三重短期大学に変更
- 産前・子育て応援ヘルパー派遣事業を開始
- こども安心サポート任意予防接種費用助成事業を開始

## 2024



1か月児健診

## 2020



タブレットを使用した授業の様子

## 2018



洋式化されたトイレ

## 2013



まん中こども館

## 2011



中央学校給食センター

